

船舶事故等調査報告書

平成22年2月25日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第173号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年4月1日 13時30分ごろ	
発生場所	千葉港葛南区市川灯台から真方位250° 2,070m付近 (概位 北緯35°40.4′ 東経139°57.3′)	
事故等調査の経過	平成21年7月3日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 貨物船 第五鶴吉丸、393トン 船舶番号、船舶所有者等 134055、山河海運有限会社 乗組員等に関する情報 船長、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	船尾船底擦過傷	
事故等の経過	本船は、船長ほか3人が乗り組み、船首約2.7m、船尾約4.2mの喫水で、線材約800トンを積載し、千葉港葛南区の岸壁に着岸作業中、風と潮流に船尾が圧流され、平成21年4月1日13時30分ごろ、船底に衝撃を感じた。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北東、風力 2 海象：潮汐 下げ潮末期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、千葉港葛南区の岸壁に着岸作業中、風と潮流に圧流された際の操船を適切に行わなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が千葉港葛南区の岸壁に着岸作業中、風と潮流に圧流された際の操船を適切に行わなかったため、浅所に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	